



紫陽花の美しい季節になりました。おかわりありませんか。
今年度も引き続き重点項目に取り組んでいきますのでよろしくお願いいたします。
今回から定義の再確認・特記のポイントに重点を置き、質問のあった項目を優先的に取り上げていきます。

今回は、介助の方法の5群（「5-3 日常の意思決定」を除く）。間接介助の項目です。

☆調査項目の選択方法：介助が提供されているかどうか（必要かどうか）

- 「第2群」「第5群」を中心に、生活上の具体的な行為について、「実際に行われている介助」、または「適切な介助」を評価する。
- 「介助されていない（必要ない）」「介助がされている（必要である）」の軸で評価する。
- 「実際の介助の状況」<「適切な介助」（差分は特記事項へ）
- 「より頻回な状況で選択する」

☆特記事項の重要ポイント：手間・頻度の記載

「5-1 薬の内服【テキスト132頁～134頁参照】



【聞き取った状況】

長女が週に1度訪問し、1週間分をお薬カレンダーに準備している。
カレンダーからは1日3回自分で取り出し飲み忘れなく服用できている

この場合選択肢はどれかな？準備は週に1回だけど…？



☆ポイント☆

分包する介助が都度発生していると考えよう！

【特記事項例】

薬カレンダーに長女が週に1度、1週間分準備している。カレンダーからは自分で取り出し1日3回飲み忘れなく服用できている。介護者が分包する介助が行われていることから「一部介助」を選択した。
【選択肢 一部介助】

「5-2 金銭管理【テキスト135頁～136頁参照】

【調査項目の定義】一定期間：調査日より概ね過去1週間

自分の所持金の支出入の把握、管理、出し入れする金額の計算等の一連の行為



【聞き取った状況】

お金のことは若いころから全部妻に任せており、妻から小遣いをもらってやりくりしている。どれくらい貯金があるのかもわからない。(本人)

お金の管理はすべて任されている。年金額や預貯金残高のことは夫には知らせていない(妻)

※3群は全て正答。4群は該当する問題行動はなかった。

小遣いの管理ができていいるのだから、金銭管理はできるんじゃないのかな？
でも、年金や預貯金などの管理はしてないよ。



☆ポイント☆

「実際に行われている介助」、または「適切な介助」を評価する。

実際に行われている介助だと選択肢は「一部介助」になるよね。
でもその介助は適切なのかな…？3群は全て正答だし。4群も問題行動はないよね。



【特記事項】

例①3群及び4群の状況から判断に迷ったが、年金額も把握しておらず小遣い銭のみの管理のため実際の介助の状況から評価し「一部介助」を選択した。

【選択肢 一部介助】

例②小遣い銭のみの管理であるが、3群4群の内容より「適切な介助」より「介助されていない」を選択した。

【選択肢 介助されていない】



調査員の価値観によるからどちらも考えられるね。

「適切な介助」で評価する場合は「どういうケアが必要か」の観点が必要だね。審査会に評価してもらうことになるから、定義をきちんと理解して特記事項に選択の根拠を記載しよう。

「5-5 買い物【テキスト141頁～144頁参照】

【調査項目の定義】一定期間：調査日より概ね過去1週間

食材、消耗品等の日用品を選び（必要な場合は陳列棚から商品を取り）、代金を支払うこと



【聞き取った状況】

パンやコーヒー、おやつや酒など好きなものはコンビニに毎日買いに行く。

食材は週に1回長男がまとめて買ってきている。

日用品は月に1回長女と一緒に買い物に行き、長女に相談しながら商品を選び

支払いは自分でしている。

自分で買い物しているよ。でも食材は長男が買ってきているよね。
日用品は代金を支払っているけど、長女に相談しながら選んでいるんだね。



☆ポイント☆

調査項目の定義を確認しよう！

「より頻回な状況」から考えてみよう！

毎日買い物しているけど嗜好品だけだね。日用品は月に1回買いに行っているんだね。食材は週に1回まとめて買ってきているよね。



【特記事項例】

毎日買い物に行くが、嗜好品のみ購入。食材は長男がまとめて買ってきている

（1回/週）日用品は長女に相談し選び代金は自分で支払っている（1回/月）

より頻回な状況から「全介助」を選択。

【選択肢 全介助】

「5-6 簡単な調理【テキスト144頁～145頁参照】

【調査項目の定義】一定期間：調査日より概ね過去1週間

「炊飯」、「弁当、総菜、レトルト食品、冷凍食品の加熱」、即席めんの調理



【聞き取った状況】

朝夕の炊飯が本人の役割になっており、米は洗っているが水の量は計れないので長女が手伝っている。昼ごはんは用意してくれたおかずを自分でレンジで温めて食べている。

炊飯は長女に手伝ってもらいながら自分でしているんだね。
おかずは自分でレンジで温めているよ。



☆ポイント☆

調査項目の定義を確認しよう！

「より頻回な状況」から考えてみよう！

炊飯は1日2回手伝ってもらっているよね。
惣菜の温めは1日1回だね。



【特記事項例】

お米は自分で洗えるが、水の量は計れないため長女が行っている
(2回/日) おかずは自分でレンジで温めている(1回/日)
より頻回な状況から「一部介助」を選択した。

【選択肢 一部介助】

～ 編集後記 ～

先日、審査会で「特記事項の回数を後ろにまとめて書いてくれるようになったからわかりやすいよ」との言葉をいただきました。皆さんのおかげです。ありがとうございます。

久しぶりの発行となってしまいました。長く続けていけるよう努力します。

認定調査で不明な点などありましたらお気軽にご相談ください。

【平成29年7月11日 発行：介護保険課】

【令和3年10月12日 一部修正：介護保険課】